

見やすさと長期間安定運用の両立を実現 よりスムーズな管制業務をサポート



広島県警察本部 交通管制センター様

導入システム: 監視マルチシステム

導入時期: 2020年2月 導入地域: 中国

課題:

- ・プロジェクターの更新により、視認性・メンテナンス性を向上させたい
- ・管制業務での目の疲れを軽減したい

解決策:

- ・レーザープロジェクターの導入で、輝度と運用期間のバランスを調整し、長期間にわたって高画質投写を維持

“
高画質のレーザープロジェクターで細かな文字も見やすくなり、管制官も目が疲れず、長期間にわたって安定して運用できる表示装置に一新できました。
”

広島県警察本部 交通部
交通規制課 交通管制室
室長 前岡 孝 様

※所属は2020年6月時点のものです。

背景

経年劣化で視認性が低下した表示装置をリプレース

広島県警察本部交通管制センター様は、2007年に現庁舎に移転され、それを機に中央表示板、管制卓などを一新されました。当時、表示装置として導入されたランプ式プロジェクターが経年劣化のため明るさが低下しスクリーンごとの色のバラツキが出てきたこと、またランプなどのメンテナンス部品の入手が困難になってきたことから、中央表示板を中心とした表示装置をリプレースされることになりました。更新にあたっては既設画面と同サイズ、同アスペクト比(4:3)で、長期間安定した運用ができることが主要条件でした。

導入した理由

高画質を長期間維持するレーザープロジェクターによるマルチビジョン

パナソニックは、1チップDLP®方式とレーザー技術の組み合わせにより、メンテナンスフリーで長期間運用が可能で画質の低下も最小限に抑制する、レーザープロジェクターPT-RZ771JLBによるマルチスクリーンシステムをご提案。同プロジェクターは使用状況に合わせて輝度と運用期間のバランスの設定も可能。1日16時間で15年間の使用を想定した設定でも、十分な明るさを確保でき、既設に比べ細かな文字も見やすくなることをデモンストレーションでご確認され、ご好評をいただきました。

広島県下の交通の安全と円滑化を担う

広島県警察本部様では、県民の交通安全と交通の円滑化を目指して1973年に交通管制システムを導入。交通管制センターは車両感知器やカメラなどで交通情報を収集して刻々と変化する県内の交通状況を即時に把握し、交通規制や交通整理を指令するとともに、最新の交通情報をドライバーに提供します。

■ 所在地: 広島市中区基町1-4

■ URL: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police/>



▲ 交通管制センター様が入る広島県警察本別館基町庁舎



導入後の効果

目の疲れを軽減しながらも視認性が大幅に向上

今回のリプレイスでは、管轄する県下の道路交通状況を地図で表示する70型×8面のマルチスクリーンと、その上部でライブ映像や緊急の交通規制情報を表示する2面の表示装置をPT-RZ771JLBに更新しました。交通管制室室長 前岡孝様からは「長時間の管制業務でも目が疲れにくいという要望に合わせて、明るさを調整しながらも、見やすく鮮明な画面になりました。従来は表示が暗く見難くなっていたことから、管制室の2階にある放送室ではオペラグラスなどで細かな文字を確認していましたが、今回の更新で肉眼でも細かな文字も十分確認できるようです」と、視認性向上の評価をいただきました。また、既設機器はミラー反射を用いた投写でしたが、今回のリプレイスでは直接投写に変更。これにより、将来のリプレイスにおいても、プロジェクターの入れ替えだけで済むというメリットも生まれました。

災害時にもより安心して運用できるシステムに

レーザープロジェクターはランプ交換が不要でメンテナンスの手間やコストが省け、システムの稼働停止を最小限に抑えることができます。また、ランプ式に比べ立ち上がりが早く、表示装置を停止している夜間に地震などの災害などが発生した場合でも、電源オン後すぐに出画が可能で、よりスピーディーに対応できます。今回のリプレイスではスイッチャー類や表示用のPCなども一新し、トラブルの少ない、より信頼性の高いシステムになりました。さらに、運用面のソフトウェアの高度化も図られ、規制情報を迅速に入力できるようソフトの改善や、地図上の自由な位置に通行止めなどのアイコンを表示させる機能を追加。また、ひとつのスクリーンに地図とカメラの映像の2画面を表示させるなどあらゆる場面を想定し、非常時での柔軟な対応ができるシステムとなりました。



▲既設プロジェクターのミラー反射式の投写からPT-RZ771JLBでの直接投写に改修



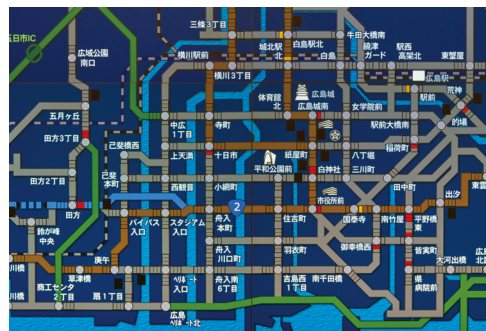
▲バックヤードのスイッチャーも更新 収納場所も改め、メンテナンス性を高めた



▲管制官の目の疲れを考慮した明るさで表示。輝度を落とすことで、より長時間の安定運用が可能に マルチスクリーン上部の2面の表示装置もPT-RZ771JLBにリプレイス



◀ラジオで交通情報を届ける放送室(写真右上)からも画面がよく見えるようになったと好評



◀気になっていたスクリーンごとの色のばらつきもなくなり、道路情報を鮮明に表示。スクリーンの目地も細くなり、視認性がより高まった

今後の展望

見やすくなった表示装置を活用して、交通管制をさらに充実させる

今回のリプレイスで目が疲れにくい表示に一新でき、運用面の高度化も図れました。交通情報が収集できるポイントは随時増えていくので、道路表示画面も更新しなければなりません。渋滞が集中している広島市内を目立つようにするなど、より見やすい表示を追求し、交通管制をさらに充実させていきます。



広島県警察本部 交通部
交通規制課 交通管制室
室長 前岡 孝 様

※所属は2020年6月時点のものです。

納入機器



1チップDLP®方式レーザープロジェクター
PT-RZ771JLB×10台



1チップDLP®プロジェクター用ズームレンズ
ET-DLE060×10台

■納入会社 パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

■発行 パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

その他の納入事例に関しては、
ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/>
<https://panasonic.biz/cns/projector/>

